

山上曹源 （号 慧心） 佛教學者。明治十一年十月十一日佐賀縣生れ。昭和二十一年二月二十一日歿（八七—一九七）。幼名旗市、旗一、廿一。號天川、不說學人、靈岳道人。明治二十九年曹洞宗大學卒。インドに渡り、カルカッタ大學に修學後、曹洞宗大教授、駒澤大學教授、駒澤高等女學校校長歴任。また、國譯大藏經の編輯主任を務めた。蓮光寺住職。

著書に、『今日の印度』（山上天川名、大正四年九月五日之實社）、『置仙破草鞋』（山上天川名、大正五年二月二十五日光融館）、『文化大學十年講』（合著・長田曉之編、大正十二年二月二十日維新社、裕淵堂出版部）、『葉隠武士の精神』（昭和十七年八月二十日二友社）『日本新書』等。『逐浪隨波—山上曹源追憶録』（昭和二十一年十一月二十日山上貞編）刊。

